

まんまんちゃん ニュース



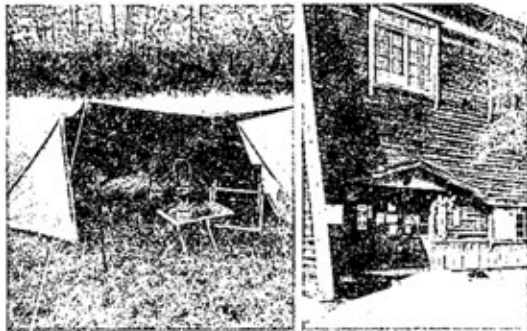
株式会社高田
大聖寺永町38の1
☎72-1275
第36号 2020年冬
～2021年初春

みきおちゃんご挨拶

新型コロナがいまだ収束しない中ではありますが、しっかりと感染防止対策を取りつつ、10月に人形供養祭を開催しました。お人形、ぬいぐるみのひとつひとつを祭壇にお飾りし、ご供養のお手伝いをさせて頂きました。ご参加頂きました皆様には心より感謝を申し上げます。今後も様々な対策を取りつつ、お葬儀やタカダの終活塾を通じて加賀地区の華送文化向上に努めてまいります。



探検チョロチョロぼくのまち～竹の浦館(旧瀬越小学校)～



コロナ禍の中、密回避のためキャンプが密かなブームとなっている。このキャンプ場では沢山の人がテントを立てており、冷たい秋風を浴び、空を見上げると沢山の星がキラキラと輝いている。音と独特な香り、外出しづらいうち、非日常を味わうには十分といえる時間となりました。冬期は営業しておりませんが、春になったらぜひ皆さん行ってみてはいかがでしょうか。しょうか竹の浦館では定期的にイベントや楽しい体験教室なども行っているそうです。

メモリーズフレンズ

今回は春日町に住む尾野さんの自宅にある真鯛の大きな魚拓について取材してきました。今から約8年前、福井県越前町の小樽(おこのぎ)という所で朝7時半、磯釣りして二投目を投げたところでヒット。約25分にも及ぶ戦いの中、全長85cm、重さ7.1kgの真鯛をたった一人で釣り上げたことです。去る先に飾ってある魚拓は、魚拓を作る専門の方に依頼して作ってもらったとおっしゃっていました。



船釣りではなく、磯釣りではここまで大物を釣り上げることは滅多にないとても貴重なことだと思えます。そのため、尾野さんはとても嬉しそうに当時の状況を話し、舐もワクワクしながらその話を聞いていました。

磯釣りは危険なことも多く、実際尾野さんもたくさん危険な目にあっていて、おっしゃっていました。しかし、それでも磯釣りをやるのはいつか出会うかわからない大物を釣り上げたときにある達成感や喜びにある、と尾野さんは釣りの魅力について熱く語っていました。ちなみに、全長85cmもある真鯛は、近所の皆さんを呼んで、皆さんで食べたそうです。それも釣りの楽しみの一つですね。

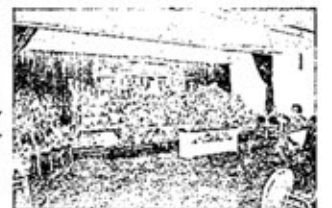
お葬儀オンライン配信サービス

セレモニー会館タカダでは、インターネットを使い自宅などからお別れができます。YouTubeを使用し、お葬儀をインターネットで中継することにより、体調不良や移動規制などで参列できない方もパソコンやタブレット、スマホでお葬儀の様子をご覧になれます。便利な技術を活用しながら、大切な人とお別れをお手伝いさせていただきます。なお、視聴用アドレスは喪主様が許可した方のみ専用アドレスを送ります。一般の方は視聴できませんので、ご安心ください。



人形供養祭のご報告

10月5日に人形供養祭を開催いたしました。事前のお持ち込み期間を含め、多数のお人形をお持ちいただきありがとうございました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初のオンライン配信を行いました。今後も感染防止対策を徹底し、コロナ禍にあっても皆様のお役に立てるような企画を考えていきたいと思っております。



編集後記 今回の探検は懐かしの場所である竹の浦館にしました。小中学生時代にキャンプ場や当時の「青年の家」でお泊りをし、楽しい時を過ごした記憶があります。冬期間はキャンプができませんが、体験教室もあるのでぜひご利用ください。メモリーズフレンズでは釣りの達人、尾野様にご登場いただきました。ご協力ありがとうございました。キャンプや釣りといったアウトドアはコロナ禍でも楽しめます。また、それらへ気軽に行けるのはこの地域の魅力だと思います。アフターコロナ、ウィズコロナといわれますが、私共も新たな日常を模索して参ります。

ニュースターのご感想やご質問などお気軽にご連絡ください。
アドレス <https://www.takada-sougi.co.jp> Fax 72-1265



タカダのLINE公式アカウント

しけ